

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の
てん ねん き ねん ぶつ
天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】笠岡市大島中
【時代】樹齢300年以上
【指定年月日】昭和46年10月15日
【所有】竹田稲荷神社
【見学】可



たけだいなるのあべまき

竹田稲荷のアベマキ

かんけい しまち
関係する市町

かさ おか し
笠岡市



てんねんきねんぶつ この天然記念物について

みたけさん おおしまなか
御獄山の北側のふもとと県道寄島笠岡線の南側に、大島中の
たけだいなるじんじゃ しゃでん
竹田稲荷神社があり、社殿のすぐ横に、1本の大きなアベマキが
しゅうい しゅうい
立っています。幹の周囲3.5m、根元の周囲4.8m、高さ21m、
すいていじゅれい
推定樹齢約300年です。

たけだいなるじんじゃ たけだ は ぶ
竹田稲荷神社は、大島中の竹田・土生地区の土地を守る神様
わたなべよろう しつきぐんきのこむら
で、元和3（1617）年渡辺与四郎が後月郡木之子村（現井原市
さいざき いなり
木之子町）から当地へ来て、木之子村才崎の城中にあった稲荷
じんじゃ やしきうら しゅごしん まつ
神社を屋敷裏のマキの木の下へ守護神として祀ったのがはじめ
とされています。